

細野新内局が発足
宗門発展に全力誓う



任命辞令親授式は午前10時から議場で営まれ、延暦寺内局随喜のもと大樹座主猊下の導師で法楽を奉修。続いて細野新宗務総長らに辞令が手渡された。

大樹座主猊下は「社会情勢は厳しく、世界でも戦争が絶えない時代に、天台宗はいかに行動すべきかを念頭に政策を練り、宗務に励んでいただきたい。そして全国の住職らが宗規に従って法務が務められるようご指導を願う」とお

言葉述べられ、新宗務総長の手腕に期待を寄せられた。細野宗務総長は「責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思い。宗議会議員としての経験を活かして宗徒の興望に応えるべく、宗祖伝教大師のみ教を基に、天台宗と総本山が一体となって宗門の発展のため、微力ながら全力を尽くして職務にあたる所存です」と決意を述べた。

式後、細野宗務総長は各部長を任命し辞令を伝達した。

阿部昌宏宗務総長の任期満了に伴う宗務総長選挙の選挙会が10月31日に行われ、南総教区観明寺の細野舜海住職の無投票当選が決まった。11月17日に天台宗務庁で宗務総長・参務任命辞令親授式が挙行され、大樹孝啓天台座主猊下より細野新宗務総長と6人の参務に辞令が親授された。任期は令和10年11月16日までの4年間。

新内局の略歴

宗務総長(天台宗代表役員)
参務(天台宗責任役員)



【宗務総長】
細野 舜海



【参務・総務部長】
坂本 圭司



【参務・法人部長】
四竈 亮真

昭和35年生まれ。64歳。神奈川県川崎区遍照寺住職。神奈川教区教務主任、庶務主任、宗議会議員3期。

昭和30年生まれ。69歳。南総教区観明寺住職。天台仏教青年連盟代表、南総教区研修所所長、宗議会議員5期などを歴任。令和4年5月〜同6年2月まで宗議会議長。その他、天台宗海外伝道事業団常任理事、大正大学評議員などを務める。



【参務・財務部長】
大角 実豊

昭和38年生まれ。61歳。延暦寺一山嚴王院住職。延暦寺副執行・財務部長2期。



【参務・教学部長】
村田 庸田

昭和36年生まれ。63歳。栃木教区全水寺住職。一隅を照らす運動教区本部事務局長、栃木教区社会主任、栃木教区宗務所長2期。



【参務・社会部長】
原 徳明

昭和30年生まれ。68歳。群馬教区満勝寺住職。群馬教区教区議会議員3期、宗議会議員2期。



【参務・一隅を照らす運動総本部長】
荒樋 勝善

昭和36年生まれ。63歳。兵庫教区白毫寺住職。兵庫教区第6部主事、兵庫教区宗務所長2期、天台宗宗務所長会副会長。嗣講。

極微

インバウンドの外国人の多さに驚くこと久しい。ヨーロッパ、北米、アジアに限らず世界各地からの来訪である。テレビに映る京都の嵐山や清水寺周辺は、ほとんど外国人ばかりの光景だ。東京の浅草でも同様で、日本人などとはときおり映るぐらいである。▼どうやら背景には近年の「円安」があるようだ。海外で人気の日本のアニメやラーメンをはじめとする日本食の本家本元の地を訪れたいという思いに「円安」が拍車をかけたのか。あまり景気の良くない日本にお金を落としてくれるのはありがたいが、一方で「オーバーツーリズム」が問題になっている▼「オーバーツーリズム」とは、観光地などに旅行者が集中し、地元住民の日常生活に支障が出ていることをいう。街路やバスなどの混雑、私有地への立ち入り、ゴミのポイ捨てなどで住民が悩まされていることなどを指す。それぞれの問題に対策は講じられようが、頭の痛いことではある▼基本的には、日本が誇る「おもてなし」精神で接するのが大切だとは思いますが、節度ある対応も必要である。「私有地立ち入り」や「ゴミのポイ捨て」などでは生活習慣や国民性の違いで齟齬をきたすこともあるだろうが、非は非として正すべきことは正すべきと思う。その上で、日本旅行を大いに楽しんでいただき、いつか再訪してもらえたら嬉しいことである。